

株主のみなさまへ

第188期中間報告書

2025年1月1日－6月30日



Empowering Feeling
artience

東洋インキSCホールディングス株式会社からartience株式会社(読み方:アーティエンス)へ2024年1月1日に商号変更しました。



株主のみなさまへ

代表取締役社長
高島 悟

株主のみなさまにおかれましては、平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第188期中間期の業績をご報告するにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当中間連結会計期間(1～6月)における世界経済は、持ち直しが緩やかになっており、一部の地域において足踏みがみられたほか、関税率引上げに伴う駆け込み需要やその反動の影響、不透明感がみられました。このような環境のなかでartienceグループは、年度方針である「高収益既存事業群への変革」、「戦略的重点事業群の創出」、「経営基盤の変革」の実現に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は減収となりました。うえ、営業利益および経常利益と親会社株主に帰属する中間純利益はそれぞれ減益になりました。

企業が社会に果たすべき役割は、「課題解決」と「価値創造」の大きく2つあると考えています。「課題解決」とは、気候変動

や人権といった社会が直面するテーマに対して、企業として責任を持って取り組むこと。たとえ一社の取り組みは小さくとも、企業同士が連携すれば大きな力になり、社会を変えていくことができるはず。一方の「価値創造」は、これからの社会において一層重要になってくると考えています。AIをはじめとするテクノロジーの進化が加速するなか、社会の常識や人びとのニーズは大きく変わろうとしています。かつてない変化のなかで、私たちは従来とは異なるまったく新しい価値を提供していくことが求められています。だからこそ、個の感性や創造性が非常に大きな意義を持ちます。「art」と「science」の融合を目指す当社の姿勢も、それを映したものです。人の心に寄り添い、技術を高め、新しい価値を創る—そうしたモノづくりを通じて、社会に必要とされ続ける存在でありたいと願っています。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも末永くご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

2025年9月

中期経営計画：artience 2027

2023
12月期

2024
12月期

artience 2027

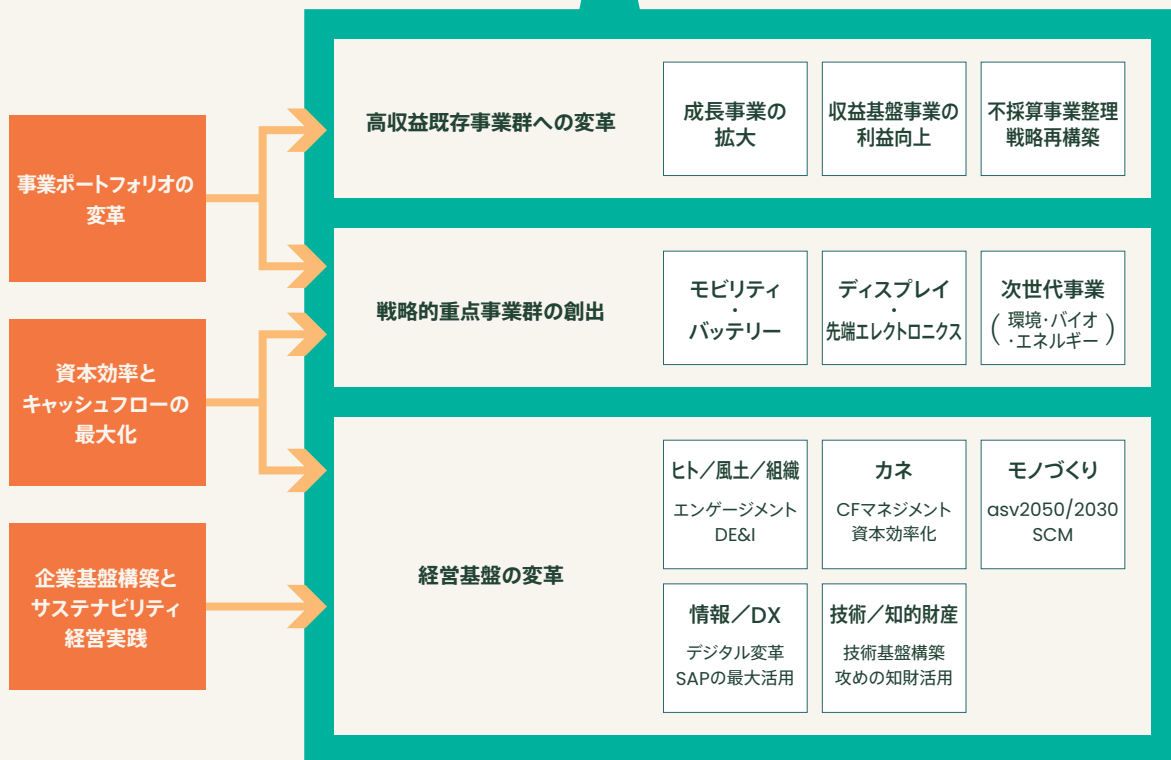
2026
12月期

持続的成長

売上高 3,221億円
営業利益 134億円
営業利益率 4.2%
ROE 4.2%

売上高 3,511億円
営業利益 204億円
営業利益率 5.8%
ROE 7.3%

売上高 4,000億円
営業利益 250億円
営業利益率 6.3%
ROE 8.0%以上



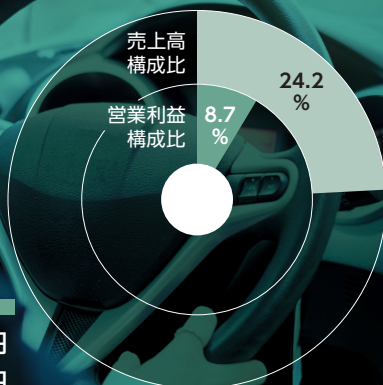
事業別活動報告

※各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

※その他の事業については記載を省略しています。

※記載金額は億円未満を四捨五入しています。

色材・機能材関連事業



売上高： 414 億円

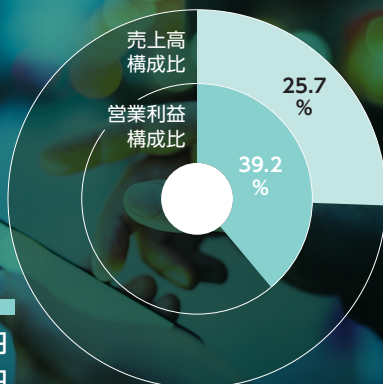
営業利益： 8 億円

▶当中間期までの概況

液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、中国で大型パネル用が補助金政策効果や関税率引上げに伴う駆け込み需要により出荷が増加したものの、台湾ではパソコン用など中小型パネル向けの出荷低調が続いたことに加え、国内のパネルメーカー撤退による影響も受けました。光半導体材料は、中国でスマートフォン向けに販売が拡大しました。

プラスチック用着色剤は、国内では飲料キャップ用が堅調で、コストダウンや価格改定による効果もあり損益が改善しました。海外では、前期に好調でした太陽電池用が伸び悩んだうえ、自動車用も低調でした。車載用リチウムイオン電池材料は、EV市場の成長鈍化が続き低調でしたが、顧客開拓や次世代製品開発を継続して進めました。インクジェットインキは、競争環境が強まるなか顧客との協業を強化しました。

ポリマー・塗加工関連事業



売上高： 438 億円

営業利益： 37 億円

▶当中間期までの概況

塗工材料は、導電性接着シート等の機能性フィルムが、スマートフォンの新モデル向けの増加や中国での拡販により、好調に推移しました。また、半導体関連材料については開発品の実績化が拡大しました。

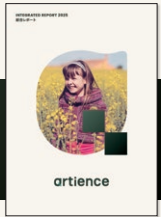
粘着剤は、国内では自動車向けなど工業用が堅調に推移し、海外ではディスプレイ用の需要増を取り込んだ中国や、拡販が進んだインドで好調でした。接着剤は、包装用が国内外で堅調だったものの、一部地域では顧客の稼働減少の影響を受けたほか、工業用はリチウムイオン電池向けが伸び悩みました。

缶用塗料は、国内では酒類値上げによる駆け込み需要後も堅調に推移し、拡販もあり伸長しました。海外でもタイを中心に、飲料缶用の拡販や食缶用の需要増により、好調に推移しました。

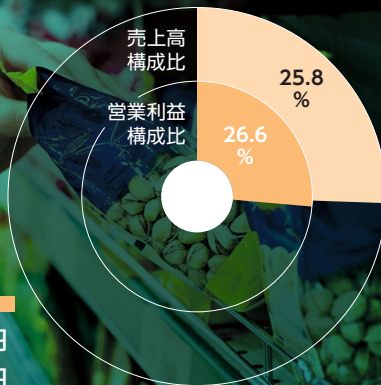


「統合レポート2025」では多くのコンテンツを通じ、中期経営計画初年度に遂行した変革や、今後描こうとする未来像をお伝えすることに努めています。ぜひご覧ください。

◀◀ 詳しくはこちらからアクセスしてください



パッケージ関連事業



売上高： 441 億円

営業利益： 25 億円

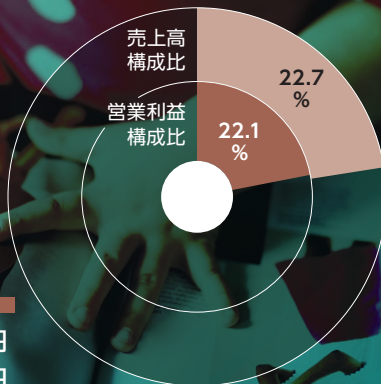
▶当中間期までの概況

リキッドインキは、国内では、パックご飯や冷食、カット野菜向けなどの需要が堅調に推移したことに加え、段ボール用も青果物関連が回復基調となりました。また、価格改定による効果もあり、売上高が伸長しました。

海外では、中国で消費の低迷により販売が伸び悩み、韓国では競合環境激化の影響を受けて出荷が減少しましたが、東南アジアやインドでは市況に支えられ堅調に推移しました。トルコでは、新工場稼働により新規顧客や周辺国への販売が拡大した一方、償却費負担も増加しました。

グラビアのシリンダー製版事業は、包装用の新版需要を確保したことや、エレクトロニクス関連の精密製版も緩やかに回復したことから堅調な販売となりました。

印刷・情報関連事業



売上高： 388 億円

営業利益： 21 億円

▶当中間期までの概況

国内では、情報系印刷市場の縮小が続き、広告、出版向けが低調に推移しましたが、事業ポートフォリオ変革を進めたことで、機能性コーティング剤や省エネルギー対応の高感度UVインキなどの機能性インキの販売は拡大しました。

海外では、出版や新聞向けなど情報系印刷の市場停滞に伴い中国や欧州で低調でしたほか、紙器パッケージ向けも東南アジアやインドで伸び悩みました。

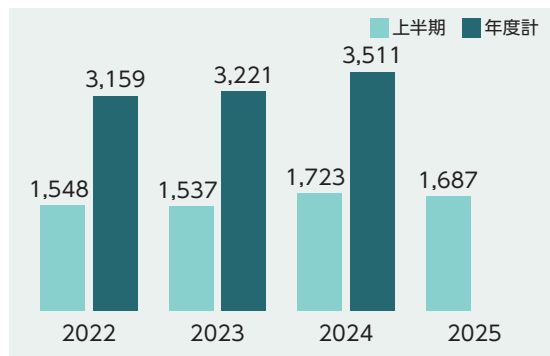
業績ハイライト

※2023年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年度上半期の各数値については、暫定的な会計処理の確定による見直しが反映された後の金額を記載しております。

※記載金額は億円未満を四捨五入しています。

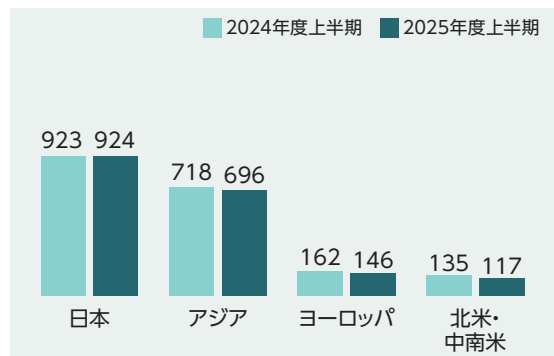
売上高推移

単位:億円



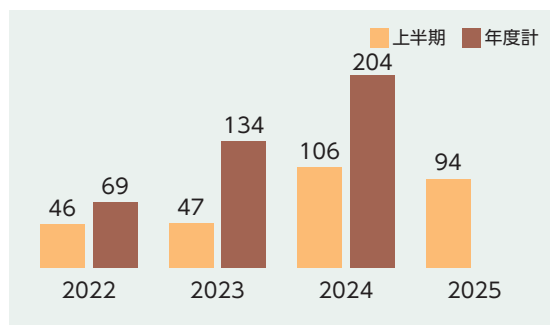
所在地別売上高

単位:億円



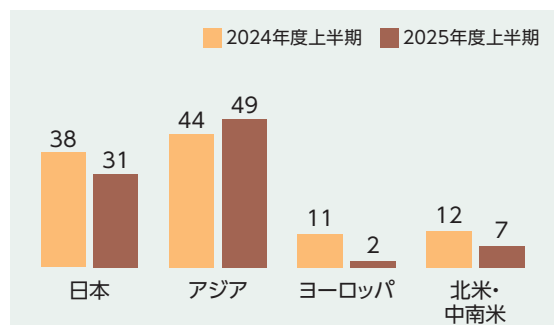
営業利益推移

単位:億円



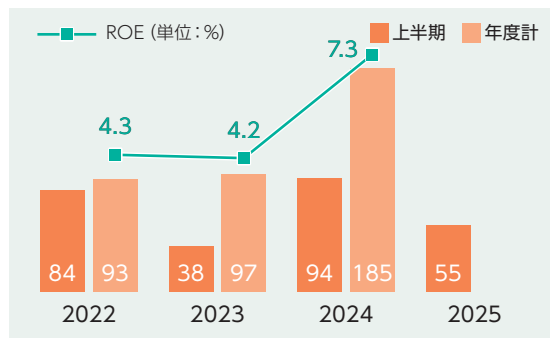
所在地別営業利益

単位:億円



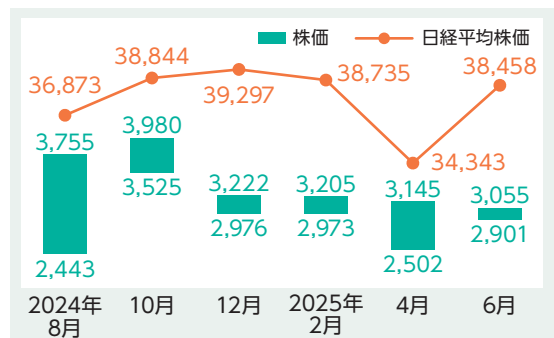
親会社株主に帰属する中間純利益推移・ROE

単位:億円



株価の推移(東京証券取引所)

単位:円



連結財務諸表の要旨

※記載金額は億円未満を四捨五入しています。

連結貸借対照表の要旨

(単位：億円)

科目	2024年12月31日現在	2025年6月30日現在
流動資産	2,453	2,217
固定資産	2,275	2,232
資産合計	4,728	4,450
流動負債	1,395	1,194
固定負債	596	631
負債合計	1,990	1,825
資本金	317	317
資本剰余金	325	325
利益剰余金	1,598	1,534
自己株式	△80	△28
その他の包括利益累計額	461	368
新株予約権	0	0
非支配株主持分	116	108
純資産合計	2,738	2,625
負債純資産合計	4,728	4,450

連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

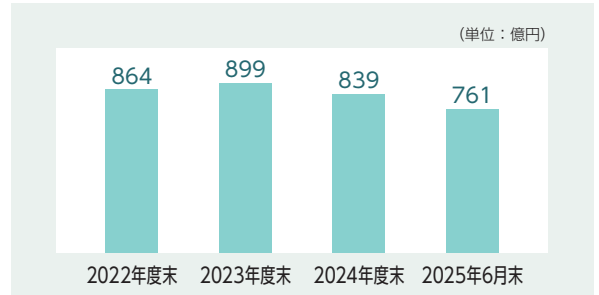
科目	2024年度上半期	2025年度上半期
売上高	1,723	1,687
売上原価	1,348	1,330
販売費・一般管理費	269	264
営業利益	106	94
営業外収益	37	30
営業外費用	19	37
経常利益	124	86
特別利益	0	1
特別損失	4	3
税金等調整前中間純利益	120	84
法人税・住民税及び事業税	31	30
法人税等調整額	△5	△2
非支配株主に帰属する中間純利益	1	1
親会社株主に帰属する中間純利益	94	55

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

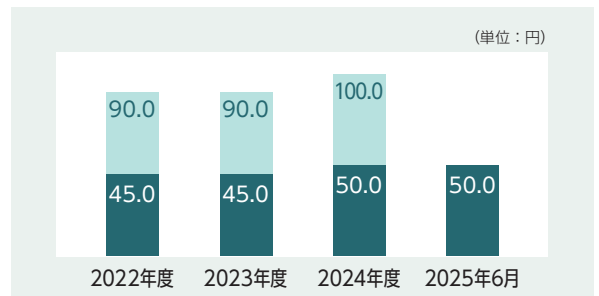
(単位：億円)

科目	2024年度上半期	2025年度上半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	151	96
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29	△128
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	△16
現金及び現金同等物の増減額	33	△125
現金及び現金同等物の期首残高	560	601
現金及び現金同等物の中間期末残高	594	475

有利子負債の状況



1株当たり配当金



中間配当金：1株につき50円

中間配当の効力発生日(支払開始日)：2025年9月8日

株式のご案内

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	■ 定時株主総会・期末配当:毎年12月31日 ■ 中間配当:毎年6月30日
株主名簿管理人 および 特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00-17:00(土日休日を除く)

◆ 住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

◆ 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株主優待制度

毎年6月30日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式を1年以上かつ200株以上継続保有する株主さまを対象に、保有株式数と継続保有期間に応じた優待品を、当社オリジナルカタログから1点お選びいただき、贈呈いたします。毎年9月下旬に当社オリジナルカタログを発送させていただきます。

artience 株式会社

〒104-8377 東京都中央区京橋二丁目2番1号

この冊子に関するお問い合わせ先 グループ総務部 TEL.03(3272)3853
インターネットによるお問い合わせ先 <https://www.artiencegroup.com>
E-mail info@artiencegroup.com



この報告書は、当社グループのTOYO KING® NEX NVシリーズを使用して印刷しています。このインキは、バイオマス度40%以上で、石油系の揮発性有機化合物(VOC)を1%未満に抑えた環境にやさしいインキです。